専門教育科目 講義科目

授業科目名	カウンセリングの理論	科目コード	配当年次	単位
担当教員	川島　忍	EB38	3・4	4

科目の概要

近年、カウンセリングという言葉は、より一般的なものとなり、カウンセリングに関する興味･関心も高まりを見せている。一方カウンセリングで扱う対象は人間のこころである。目に見えないものを扱うことや、カウンセリングの効果を客観的に示すことが困難なため、カウンセリングに対し懐疑的な立場を取る人々も少なくない。

本科目では、より適切かつ妥当な方法で、カウンセリングの基本的考え方やカウンセリングで用いる心理療法とその背景にある理論を理解し、心理検査法と代表的精神疾患の特徴を学習する。

科目の到達目標

①カウンセリングの諸理論について理解し、理論に基づく実際の治療方法を説明することができる。
②日常的な心の働きや行動、現代社会における出来事などについて、カウンセリングの理論を通して分析・考察し、問題解決を提案することができる。

テキスト	『基礎から学ぶカウンセリングの理論』山蔦 圭輔,産業能率大学出版部,2014年

テキストの読み方

①テキストは､「カウンセリングの概要」「カウンセリングの各理論と治療の実際」「実践に必要な心理検査と精神疾患の知識」の３部構成となっている。
②各理論に関する第４～13章については、各理論がどのように構築されてきたかを、キーワードを中心に読み進めるとよい。また、それが治療にどう活用されているかも理解することが求められる。
③専門用語に着目することに固執せず、日常生活や社会的な出来事など身近なことと関連づけていくことで、理解を深める。

単位修得の方法

①リポート課題（基本・応用）を提出し、それぞれ60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、４単位を修得できる。
または、
②基本リポートを提出し、60点以上であれば合格となり、スクーリングを受講できる。スクーリングに合格すると、評価が確定し、４単位を修得できる。この場合、応用リポートの提出は不要。